

MTG5000-S

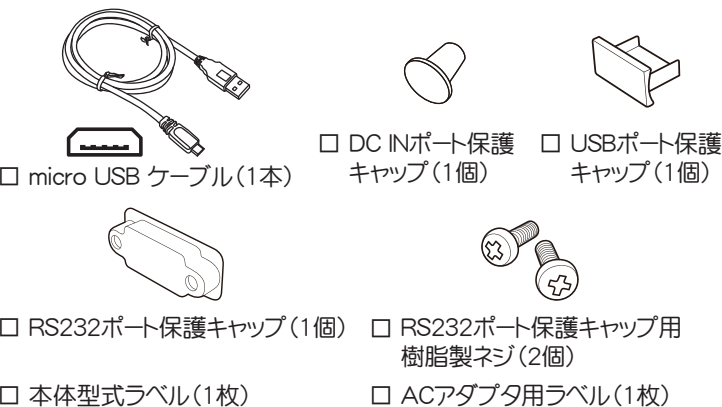
J2534ソフトインストールガイド

⚠ 重要: ご使用前に必ずお読み下さい。

この度は MTG5000-S-OBDDUP 及び MTG5000-S-OBDDKIT をご購入いただき誠にありがとうございます。本書を参考にJ2534オプションソフトのダウンロードとインストールを実施して下さい。

1. MTG5000-S-OBDDKIT の確認

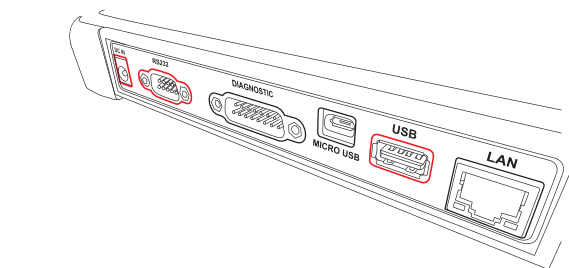
製品がすべて揃っていることをご確認ください。



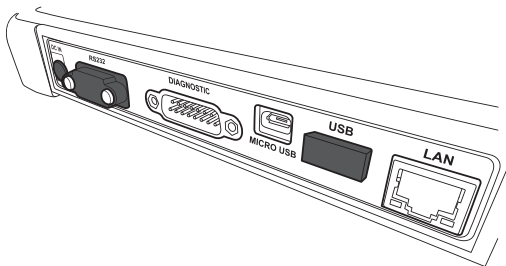
- ⚠ OBD 検査ツールとしてご使用いただくには、MTG5000-S-OBDDUP と MTG5000-S-OBDDKIT の両方が必要です。
- ・セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2. MTG5000-S-OBDDKIT の装着

1. 本体上部の「DC IN」「RS232」「USB」の各ポート(赤枠)に付属のキャップを装着します。



保護キャップ装着図

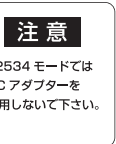


- ⚠ RS232 ポート保護キャップを装着する際は、付属の保護キャップ用樹脂製ネジ(2個)をご使用ください。
- ・樹脂製ネジは強く締め付けしないでください。

2. 付属の本体型式ラベル中央の点線(切り取り線)に沿ってハサミ等で切り取りラベル上側を本体裏面のラベルの位置に合わせて貼り付けてください。※下側の白いうラベルは破棄してください。また、ACアダプタ用ラベルを本体セットに同梱されていたACアダプタに貼ってください。



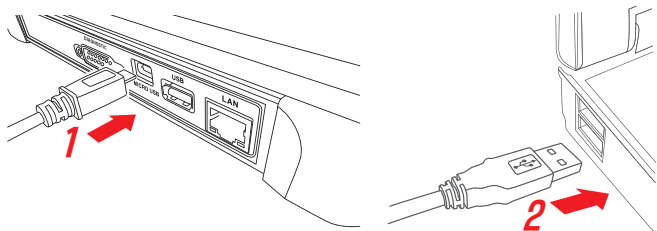
本体型式ラベル



ACアダプタ用ラベル

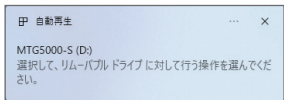
3. パソコンとの接続とファイルの表示

1. 付属の micro USB ケーブルを使用して本体のmicro USBポートとパソコンのUSBポートを接続します。本体画面にUSBケーブルのイラストが表示されPC接続モードになります。



- ⚠ パソコンとの接続は、必ず付属の micro USB ケーブルをご使用ください。

2. 本体が「MTG5000-S」の名称でパソコンに認識されます。



3. 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックして本体内のファイルを表示します。

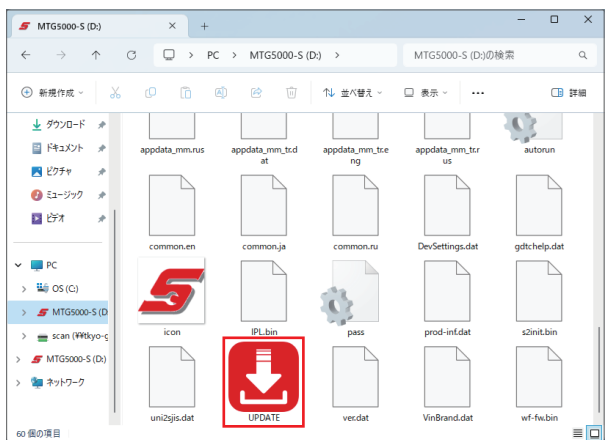


- ⚠ 自動再生が有効でない場合は、PCの「デバイスとドライブ」から「MTG5000-S」を開いてください。

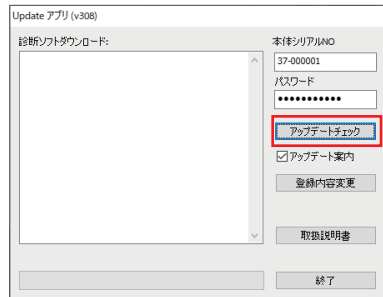


4. アップデート

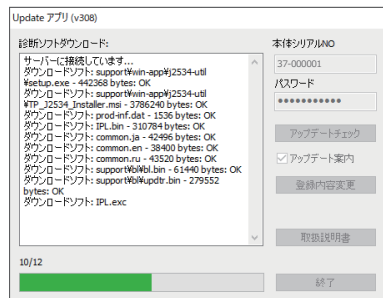
1. 表示されたファイル一覧から「UPDATE.exe」ファイル(.exeは拡張子)を開きます。※UPDATEプログラムはWindows10以降に対応しています。



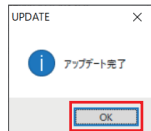
2. 「Update アプリ」の「アップデートチェック」をクリックします。



3. ダウンロードが開始され、本体内に保存されます。



4. アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。



- ⚠ 「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。
- ・管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認して下さい。

5. 以上でアップデートが完了しました。次にOBD検査で使用されるパソコンに「J2534 Utility」をインストールします。「5. J2534 Utility のインストール」に続きます。

⚠ 注意

セキュリティソフトについて

本体をパソコンに接続した場合や、「UPDATE.exe」(アプリケーション)を実行した場合に、セキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除、または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合はセキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

UPDATE.exe (アプリケーション) について

万が一アプリケーションが削除された場合は、下記リンク先よりダウンロードして、本体内に保存してください。

<http://scantool.jp/downloads/update/UPDATE.exe>

アップデート時のエラーについて

「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが正常に行えない場合は、セキュリティソフトの設定を確認していただくとともに本体内部メモリのフォーマットが必要な場合があります。フォーマット前にアップデート期間内であることをご確認いただき、以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- ・UPDATE.exe (アプリケーション)
- ・pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

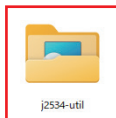
取り外すには

「ハードウェアの安全な取り外し」を実行した後に取り外してください。

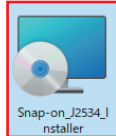
5. J2534 Utility のインストール

- ⚠ 以下の手順はOBD検査でご利用されるパソコンで行います。本書の「3. パソコンとの接続とファイルの表示」を参考に本体とパソコンを接続してください。

1. アップデートが正常に完了すると、本体内に「J2534 Utility」が保存されます。「support」→「win-app」→「j2534 util」フォルダの順に開きます。

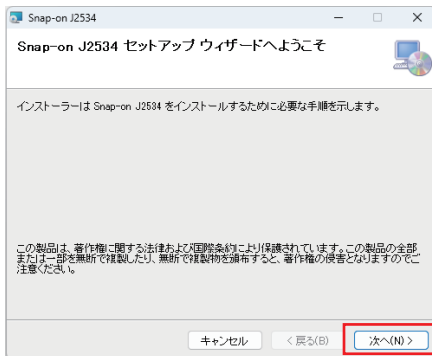


2. フォルダ内の「Snap-on_J2534_Installer.msi」をダブルクリックして実行します。

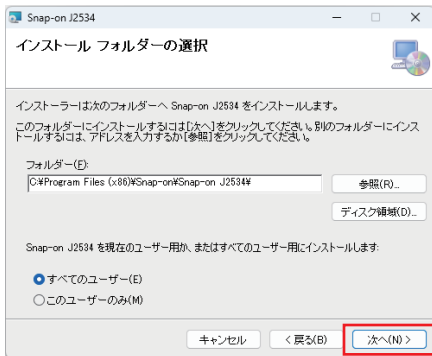


- ⚠ ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

3. インストーラーが起動します。「次へ」をクリックします。

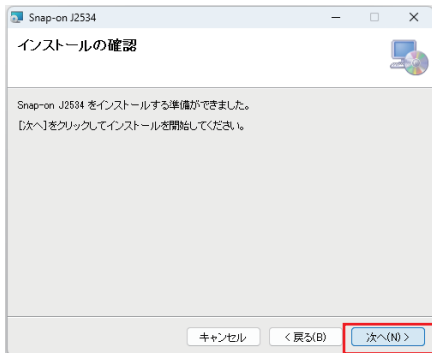


4. インストール先を確認するダイアログが表示されます。「次へ」をクリックします。

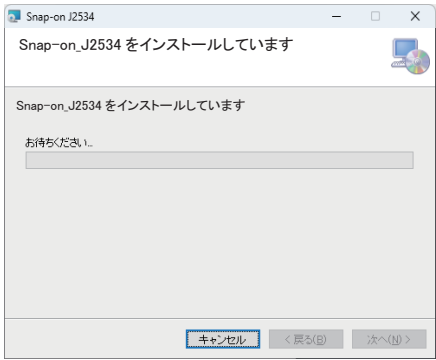


- ⚠ インストール先を変更する場合は「参照」をクリックして保存先を指定してください。

5. 「次へ」をクリックしてインストールを開始します。



6. インストールが始まります。



・下記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックして許可してください。

ユーザー アカウント制御

この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?

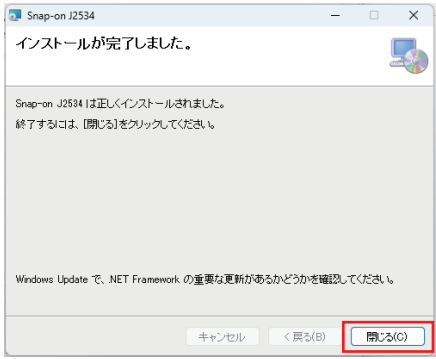
D:\support\j2534-util\Snap-on_J2534_Installer.msi

発行元: 不明
ファイルの入手先: このコンピュータ上のリムーバブル メディア

詳細を表示

はい いいえ

7. インストールが完了しました。[閉じる]をクリックして終了します。



8. インストールが完了するとデスクトップに「J2534 Utility」のショートカットが生成されます。

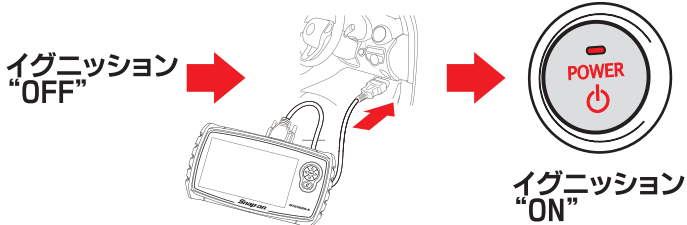


・インストール完了後は「ハードウェアの安全な取り外し」を実行して一旦本体を取り外してください。

6. J2534 Utility で本体をパソコンにセットアップ

1. 車両がイグニッション “OFF” であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション “ON” または必要に応じてエンジンを始動してください。

車両が**イグニッション “OFF”**であることを確認します。



MTG5000-S を車両に接続してから**イグニッション “ON”**

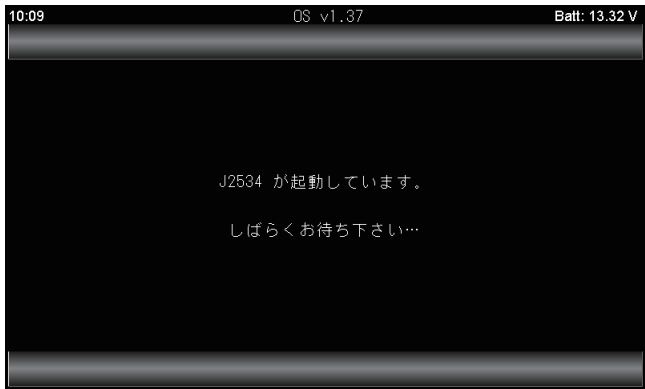
2. MTG5000-Sが起動してメインメニューが表示されます。メインメニューから「特殊機能」を選択します。



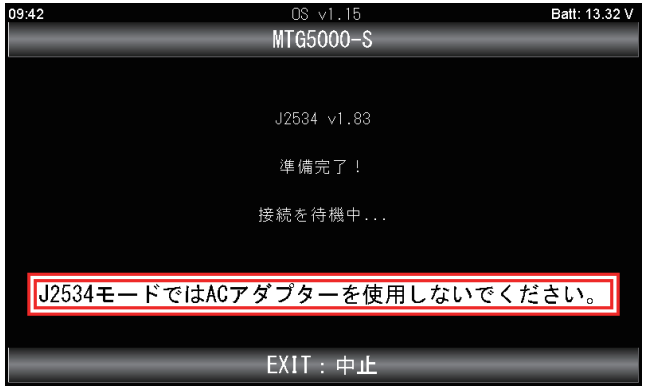
3. 続いて「J2534モード」を選択します。



4. 「J2534モード」が起動します。

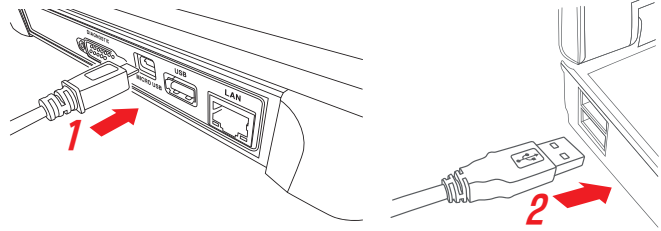


5. しばらくすると「準備完了」画面が表示されます。MTG5000-Sはこの状態で待機します。



・J2534モードで(検査用スキャンツールとして)使用の場合は、ACアダプターを使用しないでください。正しく検査ができない可能性があります。

6. 付属の micro USB ケーブルを使用して本体のmicro USBポートとOBD検査で使用するパソコンのUSBポートを接続します。



・micro USB ケーブルは必ず先に本体に接続した後、パソコンに接続してください。順番を間違えると認識しない場合があります。

・パソコンとの接続は、必ず付属の micro USB ケーブルをご使用ください。

・初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップが自動で始まります。「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されてセットアップが終了するまでお待ちください。

8. デスクトップの「J2534 Utility」を起動します。



・下記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックして許可してください。

ユーザー アカウント制御

この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?

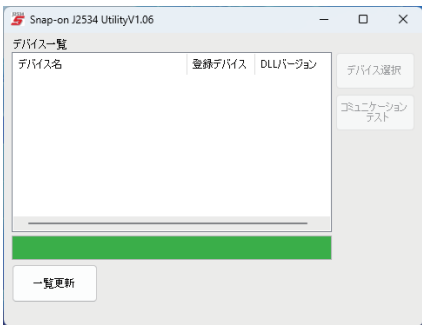
J2534 Utility.exe

発行元: 不明
ファイルの入手先: このコンピュータ上のハードドライブ

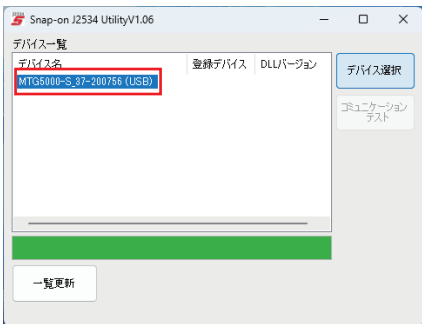
詳細を表示

はい いいえ

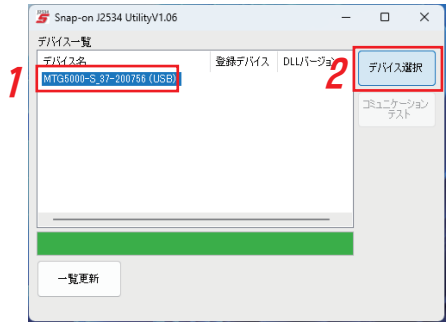
9. 起動すると、接続されている本体(デバイス)の検索が開始されます。



10. 接続した本体がデバイス一覧に表示されます。

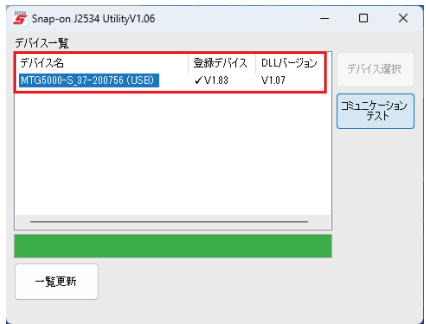


11. 接続した本体のシリアル番号とデバイス一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択し[デバイス選択]をクリックします。

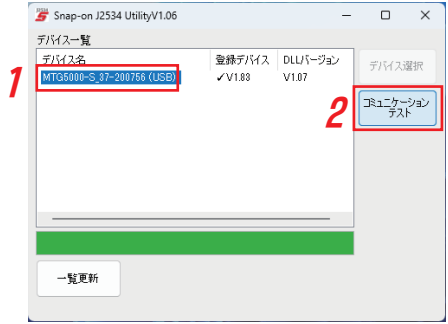


・本体のシリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。
例) S/N : 37-000001

12. 「登録デバイス」「DLL バージョン」欄にバージョンが表示され、接続された本体がデバイスとして登録されました。

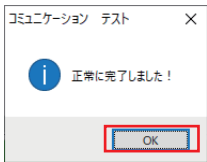


13. 続いてコミュニケーションテストを実施します。デバイス名をクリックして選択し[コミュニケーションテスト]をクリックします。



14. コミュニケーションテストが完了すると「正常に完了しました!」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしてダイアログを閉じ、「J2534 Utility」を[×]をクリックして終了します。

以上でセットアップは完了です。



15. 特定 DTC 照会アプリを起動して OBD 検査を行ってください。

・特定 DTC 照会アプリについては「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。

・セットアップが完了したデバイス名(「MTG5000-S_ シリアル番号(USB)」)が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。1台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリスト から現在接続されているデバイスを選択してください。